

頭蓋内動脈解離に関連した脳梗塞患者は、関連しない脳梗塞患者と比べて、静注血栓溶解療法後に頭蓋内出血を起こしやすいか？



全国退院情報・保険請求データを用いた
マッチドペア・コホート研究



静注血栓溶解療法を受けた
20歳以上の急性期虚血性脳卒中患者
(N = 83,139)

1:4 マッチング
(年齢, 性別, 病前mRS, 血管内治療, 教育病院)

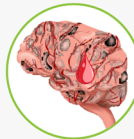


頭蓋内動脈解離患者
(N = 242)



マッチされた対照群
(N = 968)

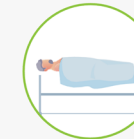
アウトカム



頭蓋内出血



退院時機能自立
(mRS 0-2)



院内死亡

一般化推定方程式を用いてペア内のクラスタリングを考慮した、多変量ロジスティック回帰

得られた主要な知見



頭蓋内出血のリスクは高い
OR 3.18
95% CI 1.26-8.06



退院時機能自立の
可能性は低い
OR 0.51
95% CI 0.37-0.72



院内死亡は差がない
OR 1.09
95% CI 0.50-2.38

頭蓋内動脈解離が疑われる場合、静注血栓溶解療法の実施には慎重になるべきである